

視覚障害のある人が受けたことのある配慮

No.	障害種別	場面	受けたことのある配慮	配慮を受けられない場合
1	視覚障害	労働・雇用	職場での給与支払明細書は、自分自身で確認できるように、担当者から点字データにしてもらっている。その他の資料等も可能な限りテキストデータでもらっている。	すべて他の方に読んでもらうことになるのでとても大変だし、働きづらさを感じるかもしれない。
2	視覚障害	労働・雇用	スマホやタブレット端末の使用が、ある程度認められていること。	業務に必要な情報を取得できなくなる。
3	視覚障害	公共交通機関	鉄道や飛行機については、声掛けや、手引といった配慮を、とてもしっかりしてもらえるので、遠方への外出についても、安心して計画することができる。	外出が困難になると思う。ガイドボランティアや、職場の人など、誰かを探さないと自由に出かけることもできなくなると思うと、本当に困る。
4	視覚障害	公共交通機関	鉄道などの駅で乗り換えのサポートがある。	初めての場所などでは、移動が難しくなる。
5	視覚障害	公共交通機関	バスに乗車する時、バスの行き先が分からなくて、近くにいる人が教えてくれた。	目的のバスに乗れない。
6	視覚障害	買い物	お店の入口まで行くことが出来ても一人で買い物をすることが出来ないで、お店の人に買い物のサポートをしてもらえる。	買い物ができない。
7	視覚障害	買い物	コンビニのレジで介助を申し入れると、カウンターから出てきて対応してもらえる。	介助を受けられなかったら買い物ができない。
8	視覚障害	行政手続	区役所に行くことが多いが、私のことをよく見ているようで、一人で正しく歩いている時には声を掛けないでくれるが、間違っている時には優しく声を掛けてくれるので安心する。自分で出来る事は、できれば見守って欲しいので、そういう配慮はありがたい。先日、いつもはスロープでいくところを、間違っただけで階段に行きかけたところ、駐車場の警備の方が飛んできてスロープに案内してくれた。日頃の私を見ていないとできないことだと思い、ありがたかった。	もしかしたら階段と分らず踏み外していたかもしれない。
9	視覚障害	行政手続	行政の窓口は、手続きに行った時に代筆をしてもらえるので助かる。	行政の窓口は必要な手続きが多いので、代筆のサポートを受けられなければ、一人では手続き出来ないと思う。
10	視覚障害	医療・福祉	大きな病院だと、院内を移動するのにサポートしてくれる人がいる所がある。サポートがあると、院内の移動はとても助かる。	サポートがなければ、広い病院では移動に困る。
11	視覚障害	その他	交差点で信号が見えずに立っていると、近くの方が声をかけて一緒に渡ってくれた。白杖を持っていつも利用している駅なので、最近は周りの方が声を掛けてくれるようになった。	声掛けがなければ、一人では交差点に入るのが怖いので、渡れないと思う。
12	視覚障害	その他	銀行の窓口で、銀行員やヘルパーの代筆サポートを可としているところは、通帳作成、お金の引き出し、振込みなどできるのでありがたい。	家族がいる場合は家族に代筆を頼めるが、家族がなく本人のみの場合、代筆での対応ができなければ口座も新規に作れない。
13	視覚障害	その他	最近は白杖を持っていると、いろいろな人が声を掛けてくれるようになったと感じる。	ガイドヘルパーの土日の調整が、事業所のヘルパー不足で難しく、市民の声掛けやサポートがなければ外出自体が難しいと思う。